

★大好評の関連セミナーを書籍化!★処方情報をシステム管理しましょう!

化粧品処方情報管理システムの構築はなぜ失敗するのか ～化粧品会社が考えておかなければならないこと～

●執筆者 有限会社久光工房 代表取締役 久光 一誠 先生

発刊 2015年6月 体裁 B5判 ソフトカバー 53ページ 定価 19,800円(税込(消費税10%))

- 第1章 化粧品処方情報管理システムの必要性
1. 配合成分や配合原料から該当する処方を検索 2. 正確で素早い成分リストの作成 3. 情報の一元化と共有
- 第2章 化粧品処方情報管理システムに求められる機能
- 第3章 委託開発の問題点
- 第4章 処方情報管理であって商品情報管理ではないことを再確認する
- 第5章 データベースとは
- 第6章 必要な情報の種類とヒモ付けの方法
1. 処方管理に必要な情報の種類と関係性 2. 処方、原料、成分の識別
3. 管理の基本となる主キーを何にするか 4. 主キーを使ったデータ間のひも付けの例
- 第7章 成分管理
1. 成分管理でよくある失敗
1.1 化粧品の成分表示名称の情報に旧種別許可成分名の項目を入れてしまう
1.2 化粧品の成分表示名称の情報に旧表示指定の項目を入れてしまう
1.3 化粧品の成分表示名称とINCI との関係
1.4 医薬部外品の申請成分名と医薬部外品の成分表示名称との関係
2. 成分管理にみるシステム開発の要点
3. 化粧品の成分表示名称の管理
4. 医薬部外品の申請成分名の管理
5. 医薬部外品の成分表示名称の管理
6. INCI の管理
7. 中文名称
- 第8章 原料管理
1. 基本情報 2. 規制情報 3. 配合成分情報 4. キャリーオーバー成分 5. プレミックス申請への対応
6. 中間原料への対応
- 第9章 処方管理
1. 基本情報 2. 設計処方 3. 化粧品の全成分リスト 4. 医薬部外品の申請処方
5. 医薬部外品の全成分リスト 6. INCI リスト 7. 中文リスト 8. 規格
- 第10章 全成分リストの自動計算
1. 化粧品の全成分リストの自動計算
1.1 キャリーオーバー成分の調整 1.2 表示順位の調整 1.3 警告表示
2. 医薬部外品の申請処方
2.1 エアゾール申請への対応 2.2 プレミックス申請への対応 2.3 表示する配合量の桁数
3. 医薬部外品の全成分リスト
4. INCI リスト
- 第11章 情報の一元化と共有
1. 情報の一元化 2. 情報の共有
- 第12章 処方情報管理システムを委託開発する際の注意点
1. コンパクトに考える 2. システム開発会社に任せない

★書籍申込書

FAX : 03-5740-8766、または、→ <https://johokiko.co.jp/publishing/BA150602.php>

※FAX番号はくれぐれお間違えの無い様お願い致します。

(書籍申し込み要領)

◎右記記入の上、FAXでお申込を承ります。

◎お申込書を確認次第、書籍、請求書および振込要領をお送りいたします。

◎未発刊の書籍をお申込の場合、申込書を確認次第、受領書をお送りいたします。

発行時に弊社より書籍、請求書および振込要領をご送付いたします(送料は弊社負担)

◎お支払いは請求日翌月末日までに、銀行振込にてお願いいたします。原則として領収証の発行はいたしません。

◎振り込み手数料はご負担ください。

★ <https://johokiko.co.jp/>

の申込みフォームからも承ります!

書籍名	HP【BA150602】化粧品処方情報管理システムの構築はなぜ失敗するのか	書籍	冊数	___冊	※記入の無い場合は1冊
会社名					
所属部課・役職等					
申込者氏名	TEL	FAX			
E-MAIL	上司役職・氏名				
住所〒					
備考					
ご案内をご希望の場合は今後の案内方法に印を記入下さい(複数回答可) <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 郵送					

ご連絡頂いた、個人情報は弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。今後のサービス向上のため「個人情報の取扱に関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先 policy@johokiko.co.jp